



学校だより

調布市立調布小学校
令和6年9月2日(月)
校長 武田 美穂子

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chowa-sho>

Mail: chowa-sho@chofu-schools.jp

2学期もよろしくお願いいたします。

校長 武田 美穂子

学校前の野川の工事も終わり、川にやってくる鳥や魚の姿を間近に見られる日々が戻ってきました。猛烈な暑さと急な大雨、台風等の対応に気を配られたご家庭も多かったのではないのでしょうか。台風等自然災害により被災された方や被害を受けられた方々におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

夏季休業日を終え、本日から学校へ子供たちが戻ってきました。日焼けした顔、急に伸びた背丈、少し眠そうな顔、友達と楽しそうに話す声…。転入のお友達を新たに9名迎え、全校児童630名でスタートです。

夏季休業中に PTA の皆様はもちろんのこと、ちょうわ地区協議会、健全育成、子供会、わんぱくおやじ倶楽部など、地域の皆様のおかげで子供たちは楽しい思い出ができたことと思います。地区協議会の皆様によるサマーフェスタ、神代団地の盆踊り等、今夏もたくさんのイベントがありました。いろいろなお店を家族や友達と回っている様子や、久しく聞くことがなかった太鼓の音に心を躍らせ、見様見真似でも楽しそうに踊る姿、おいしそうに飲食をしている姿、眠い目をこすりながら「おはようございます」とやってくるラジオ体操もありました。かかわっていただいた皆様には暑い中にもかかわらず、子供たちのためにたくさんの企画をしていただいたこと、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

美しい野川の夕暮れ

コロナ禍を経て、地域や家庭だけでなく、人々の様々なつながりに変化が生じている、と言われることがあります。しかしながら、こうした大人も子供も皆が楽しそうにしている姿を見ると、各イベントの開催への感謝とともに、子供たちにとって学区域を含む地域は、子供にも大人にもたくさんの経験をもたらしてくださる大事なフィールドであると、改めて実感します。

2学期は、1年間で1番長い学期です。私たち教職員全員が掲げている「響き合う わたしとあなたと 調布小」を子供たち、教職員だけでなく、地域、家庭、学校のつながりの中で互いの心が響き合い、豊かなハーモニーとなるよう教職員一同、力を尽くして参ります。どうぞ皆様のご理解、ご協力、ご支援をいただけますようお願いいたします。

本校の熱中症未然予防対策について

10月5日(土)のスポーツフェスティバルに向けての授業も始まります。本校では、校庭や体育館での学習活動前・活動中に暑さ指数(WBGT)を計測し、活動の実施について、「熱中症対策ガイドライン(令和4年7月 東京都教育委員会)」や熱中症警戒アラート情報(環境省・気象庁)等に照らし合わせ、可否を判断しています。

天候・気温、活動内容・場所等の状況、熱中症予防運動指針により、活動量・内容・時間・場所等を変更したり、校内の空調設備を有効活用したりするとともに、空調設備を十分に活用した学習活動の見直し、校内放送を使った暑さへの注意喚起やこまめな水分補給を呼びかけるなどにも取り組んでいます。

2学期前半も暑い日が続くと予想されます。ご家庭においての十分な睡眠・休養はもちろんですが、水筒、帽子(登下校中の着用をお声かけください。帽子は校舎外での学習休み時間・外遊びの際、原則をかぶることとしています。)、タオルまたはハンカチを持たせていただくと大変助かります。

暑さ指数(WBGT)	熱中症予防運動指針	
31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
28~31	厳重警戒(激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10~20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。
25~28	警戒(積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
21~25	注意(積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
21未満	ほぼ安全(適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

環境省熱中症要望サイトから

~2学期も学校ホームページは毎日更新予定です。ぜひご覧ください!~